

株主メモ

事業年度	毎年6月1日から翌年5月31日まで
剰余金の配当基準日	5月31日 中間配当を行う場合は11月30日
定時株主総会	毎年8月
単元株式数	100株
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料) 土日祝祭日を除く平日9:00~17:00
特別口座の口座管理機関	みずほ信託銀行株式会社
同連絡先	みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 TEL 0120-288-324 (通話料無料) 土日祝祭日を除く平日9:00~17:00
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部
公告の方法	電子公告により行う http://www.yamashitaika.co.jp (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行株式会社)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、みずほ信託銀行株式会社が特別口座の口座管理機関となっておりますので、みずほ信託銀行株式会社にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行株式会社)ではお手続きできませんので、ご注意ください。
- 過年度の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社本支店でお支払いいたします。

WEB サイトのご案内

当社のより詳しい情報・最新の情報は
ホームページでご覧いただけます。



山下医科器械

検索

山下医科器械ホームページ
<http://www.yamashitaika.co.jp>



yamashita
TOTAL MEDICAL SUPPORT

山下医科器械株式会社

〒810-0004 福岡県福岡市中央区渡辺通三丁目6番15号
NMF天神南ビル6階
TEL 092-726-8200 FAX 092-726-8212

69th Interim Business Report

山下医科器械株式会社

第69期 中間報告書 2016.6.1~2016.11.30



yamashita
TOTAL MEDICAL SUPPORT

証券コード：3022

Contents

01 社長メッセージ
～山下医科器械が
目指すもの～

03 セグメント情報

05 株主様インフォメーション
会社概要・株式状況



社長メッセージ

～山下医科器械が目指すもの～

代表取締役社長 山下尚登

顧客基盤の拡大、新しい事業分野の強化・拡充を目指します。

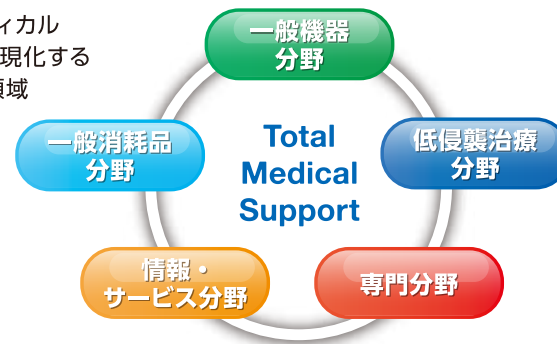
医療機器業界では、医療機関の経営改善やコスト削減への協力要請の高まりを受け、各企業は従来以上の提案力を求められるなど、業者間の競争がより激化しております。
 このような中、当社グループでは、消耗品管理の効率化やコスト削減に向けた提案を積極的に行い、基盤事業であるSPD事業の拡大に取り組んでおります。平成28年9月には、西九州地区の物流拠点として長崎TMSセンターの稼働を開始し、商品供給の迅速化・安定化を実現することで、さらなる顧客基盤の拡大を図っております。また、在宅医療・介護福祉分野における需要増加に対応するため、平成28年6月に「ヘルスケア事業推進部」を新設し、新たな介護製品の開拓・販売に取り組んでおります。さらに、医療IT分野における合併会社との連携強化、通販事業における法人向け販売チャネルの拡充、整形分野における子会社事業の強化等に取り組んでおります。
 当期は、これらの営業努力を継続しておりますが、大型の設備案件の減少に伴い、主として一般機器分野の売上が減少したこと、また、医療情報事業の売上を合併会社に移行したことから、業績面は前年を下回って推移しております。
 この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は243億39百万円(前年同四半期比0.8%減)となり、利益面につきましては、売上減少による売上総利益の減少、および長崎TMSセンター設立に伴う販売費および一般管理費(消耗品費等)の増加により、営業利益は6百万円(前年同四半期比96.4%減)、経常利益は34百万円(前年同四半期比84.8%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は8百万円(前年同四半期比93.3%減)となりました。

医療現場の声と社会のニーズに的確に応えること。
 それが、トータルメディカルサポート企業を目指す私たちの使命です。

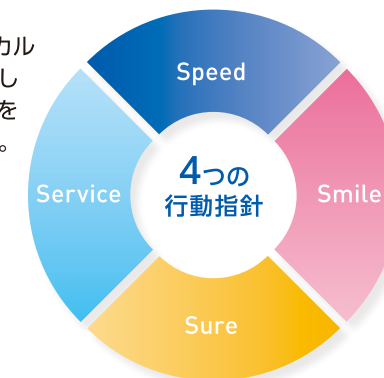
“真の”サポートを実現するための体制

- 1 的確なレスポンスで、最新の知識・情報をいち早く提供できる営業体制
- 2 製品の品質を担保し、ジャストインタイムにお届けする物流体制
- 3 ご購入いただいた医療機器等を安心してご使用いただくためのメンテナンス体制
- 4 「地域医療に貢献する」という高い意識を持った社員を育成する体制

トータルメディカルサポートを具現化する当社の事業領域

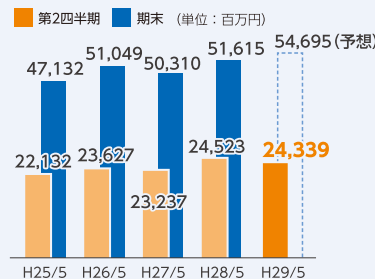


トータルメディカルサポートを目指し4つの行動指針を実行しています。

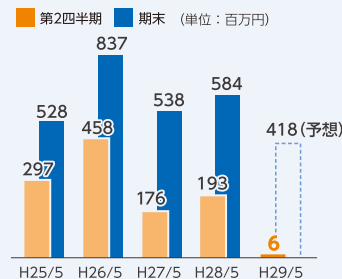


決算状況を抜粋してご紹介します。

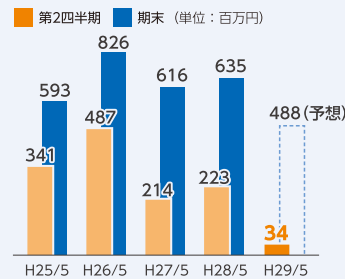
▶売上高
243億39百万円
 前期比 **0.8%** ↓



▶営業利益
6百万円
 前期比 **96.4%** ↓

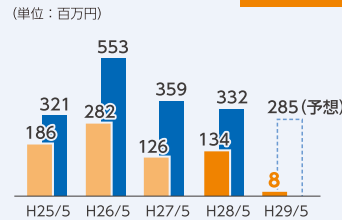


▶経常利益
34百万円
 前期比 **84.8%** ↓



▶親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

8百万円
 前期比 **93.3%** ↓



▶平成29年5月期 連結業績予想

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
通期	54,695	418	488	285
前期比増減率	6.0%増	28.5%減	23.1%減	14.1%減

※上記の業績予想は、平成29年1月6日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後さまざまな要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

医療機器販売業 売上高241億64百万円 (前期比0.8%減) 99.3%



一般機器分野

売上高 39億25百万円 前期比8.9%減

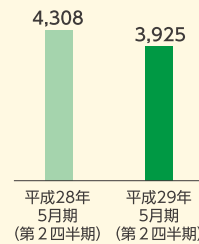
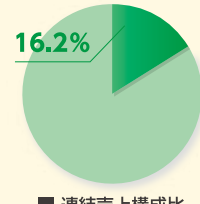
(単位：百万円)

● 事業内容

一般機器分野は、汎用医療機器から高度医療機器まで幅広い製品を取り扱う、当社の中核事業分野です。消化器外科、整形外科、脳外科などの急性期医療を中心とした様々な診療、検査、手術、救急といった院内各部署における総合的な販売活動を行っています。

● 概要

一般機器分野では、大型の設備案件の減少により、手術室関連機器等の医療機器備品や、画像診断機器等の売上が減少したことから39億25百万円(前年同四半期比8.9%減)となりました。



一般消耗品分野

売上高 98億48百万円 前期比1.3%増

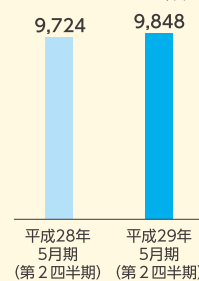
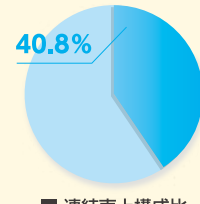
(単位：百万円)

● 事業内容

一般消耗品分野では、医療機関が使用する様々な汎用消耗品を取り扱っています。当分野において、当社は、SPD(院内物品管理システム)の提案を進め、お客様の物品管理業務等をサポートするとともに、コスト削減提案など、病院経営の効率化をサポートしています。

● 概要

一般消耗品分野では、SPD契約施設の売上増加により98億48百万円(前年同四半期比1.3%増)となりました。



低侵襲治療分野

売上高 67億57百万円 前期比4.2%増

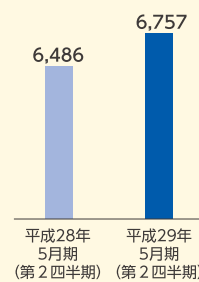
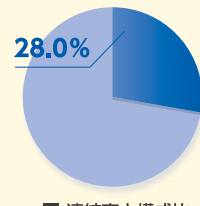
(単位：百万円)

● 事業内容

低侵襲治療分野では、より専門性の高い治療技術が要求されます。当社では、応用範囲が急速に拡大する内視鏡関連商品のほか、X線透視下での血管内治療、循環器治療に使用する様々な商品も取り扱っております。

● 概要

内視鏡、サージカル、循環器等により構成される低侵襲治療分野では、電子内視鏡システム等の内視鏡備品の売上増加により67億57百万円(前年同四半期比4.2%増)となりました。



専門分野

売上高 31億35百万円 前期比0.9%増

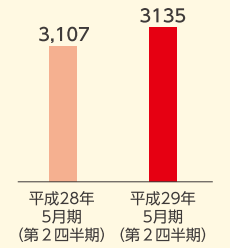
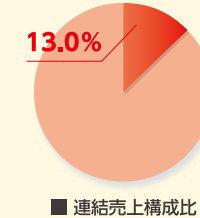
(単位：百万円)

● 事業内容

専門分野では、高度な専門知識を持ったスタッフが、医療技術やお客様のニーズに応じて、整形外科関連製品、眼科機器、皮膚・形成関連機器の提供を行うほか、より高精度で安全な臨床検査機器・システムの提供や快適な検査環境づくりのサポートを行っています。

● 概要

整形、理化学、眼科、皮膚・形成により構成される専門分野では、理化学備品の売上増加により31億35百万円(前年同四半期比0.9%増)となりました。



情報・サービス分野

売上高 4億97百万円 前期比31.8%減

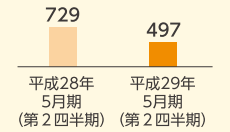
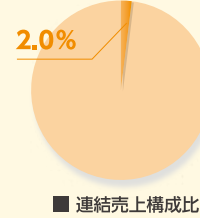
(単位：百万円)

● 事業内容

情報・サービス分野では、電子カルテ等の医療情報システムの販売はもちろん、ICTを活用した地域医療体制の構築支援を行うほか、医療ガス配管工事、医療機器のメンテナンスサービス、医療廃棄物収集運搬等の幅広いサービスを提供しております。また、クリニックの新規開業支援も手掛けています。

● 概要

医療情報、設備、医療環境等により構成される情報・サービス分野では、医療ITメーカーとの合併会社への売上の移行により4億97百万円(前年同四半期比31.8%減)となりました。



医療モール事業

売上高 36百万円 前期比1.3%増

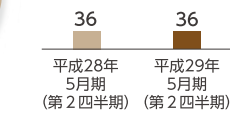
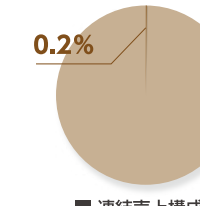
(単位：百万円)

● 事業内容

「地域医療に貢献する」という経営理念に基づき、地域から求められる質の高い医療を受ける機会を創出するため、複数の医療施設をコーディネートして提供することのできる医療モールを運営しています。

● 概要

医療モール事業におきましては、主として賃料収入により売上高は36百万円(前年同四半期比1.3%増)となりました。



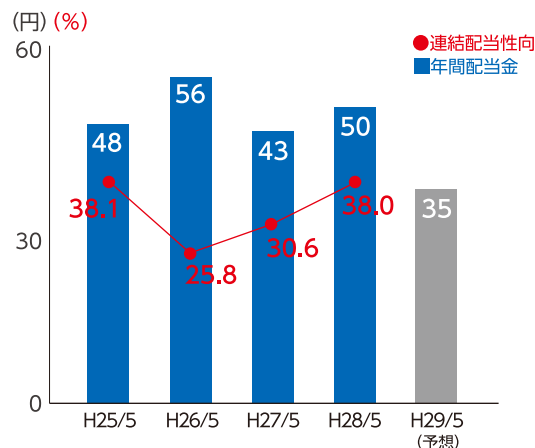
当社は、株主の皆様への利益還元を経営の重要政策として位置付けております。

配当方針

当社では、将来の事業展開と経営体質強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定かつ継続的な配当を実施することを基本方針とし、連結配当性向30%を基準に、業績等を勘案して利益還元を行っております。

本年度の期末配当につきましては、上記基本方針および業績を勘案しながら検討する予定ですが、現時点におきましては、1株当たり35円を予想しております。

配当金の推移



※平成25年5月期の連結配当性向については、過年度決算訂正後の実績値を記載
 ※平成28年5月期については創業90周年の記念配当10円を含む

株主優待制度のご案内

当社は、株主の皆様からの日頃のご支援に感謝するとともに、当社株式への投資の魅力を高め、中長期的に保有いただける株主様の増加を図ることを目的として、年2回、第2四半期末時点および期末時点での株主様に対して、株主優待を実施いたしております。

〈株主優待制度の内容について〉

①対象株主

毎年11月30日および5月31日現在の株主名簿に記載された1単元(100株)以上保有の株主様を対象といたします。

②優待の内容

毎年11月30日および5月31日現在の下記基準の保有株式数に応じて、クオカードを贈呈いたします。

保有株式数	優待品
100株~999株	500円相当のクオカード
1,000株~1,999株	1,000円相当のクオカード
2,000株以上	1,500円相当のクオカード

③贈呈の時期

11月30日現在の対象株主様

2月下旬

5月31日現在の対象株主様

8月下旬

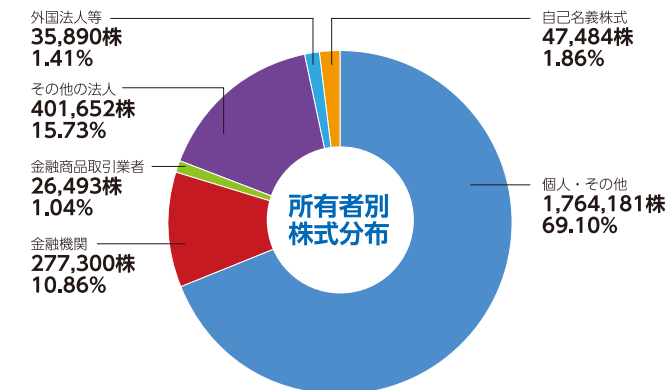


会社概要 (2016年11月30日現在)

会社名	山下医科器械株式会社 YAMASHITA MEDICAL INSTRUMENTS CO.,LTD.
創業	1926(大正15)年8月
設立	1950(昭和25)年4月
資本金	4億9,402万5,000円
本店	〒857-8533 長崎県佐世保市湊町3番13号
福岡本社	〒810-0004 福岡県福岡市中央区渡辺通三丁目6番15号 NMF天神南ビル6階
従業員	510名(連結) ※2016年5月31日現在
連結子会社	株式会社イーピーメディック

株式の状況 (2016年11月30日現在)

発行可能株式総数	8,000,000株
発行済株式の総数	2,553,000株
株主数	3,101名



大株主(上位10名)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
山下 尚登	348,400	13.91
山下 耕一	274,900	10.97
株式会社ミック	272,952	10.89
山下 弘高	130,000	5.19
山下医科器械社員持株会	77,932	3.11
オリンパス株式会社	60,000	2.39
株式会社親和銀行	48,000	1.92
山下 浩	43,000	1.72
株式会社大黒	42,400	1.69
日本生命保険相互会社	30,000	1.20

※当社は、自己株式47,484株を保有しておりますが、上記大株主からは除いております。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

役員および執行役員 (2016年11月30日現在)

役員 *印は執行役員を兼務	代表取締役社長	山下 尚登
	取締役	*北野 幸文
	取締役	*伊藤 秀憲
	取締役	*嘉村 厚
	社外取締役(常勤監査等委員)	松尾 正剛
	社外取締役(監査等委員)	小高 喜久夫
	社外取締役(監査等委員)	古閑 慎一郎
執行役員	社外取締役(監査等委員)	山下 俊夫
	執行役員	北野 幸文
	執行役員	伊藤 秀憲
	執行役員	嘉村 厚
執行役員	加藤 武彦	